

「たかがブラシ！」 されどブラシ！」

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



多種多様な工業用ブラシを製造

業務内容 ブラシと自動機の 90%以上が特注品

工業用ブラシとブラシを使う自動バリ取り機や洗浄機を設計・製造するブラシメーカー。「たかがブラシ！されどブラシ！」を合い言葉に、顧客が持ち込む部品や器具に対して、最も効率の良いブラシや自動機を提案する。

製品の90%以上が特注品。ワーク（対象物）の形状・材質、ブラシの材質・当て方などを総合して製品を設計し、テストデータとともに顧客に提示する。必要ならばテスト中の動画も見せ、性能とコストに納得してもらったうえで製造する。野宮英男社長は「相談してくれば必ず何らかの答えを出す」と自信を見せる。

強み 営業担当者全員が エンジニア

特注品の営業は、顧客のニーズを理解して解決策を提案する力が重要になる。そのため、営業担当者は全員がセールスエンジニアとして図面を描いて製品を設計するスキルがある。野宮社長は「顧客の工場で生産ラインを見せてもらい、生産の効率化を考えたブラシや自動機を提案できるのが強み」と胸を張る。

消耗品のブラシは交換が必要のため、構造をシンプルにしてコストや製造タクトタイムを抑える。自動機はNC（数値制御）技術を採用して加工品質を安定させ、顧客の導入メリットの最大化を図っている。

自動機 遊星回転で すべてのバリを取り除く

自動機の中で代表的なのが、バリ取り機「バリリング」だ。平面に並べた円形の



バリ取り機「バリリング」



ブラシのご相談は私たちまで

ブラシを遊星回転させて、平面上のバリをすべて取り除く。溝付きや複雑形状など、あらゆる平面に対応できる。エッジ部分は半径0.1mm以内の仕上げが可能。水を使って粉じんやバリを回収できるため、半導体工場に採用された実績もある。

今後の展望 「超音波溶着ブラシ」「グリッド」に期待

今後の成長をけん引する製品と期待を寄せる新製品は超音波溶着ブラシ「グリッド」だ。樹脂製のブラシの束を超音波で溶着して固定する金属レスブラシで、薬液に強く軽量で、分別廃棄の必要がない。製造面ではブラシを固定する工程を簡素化できるほか、毛先をそろえる工程がなくなるため材料費も節約できる。

従来のブラシで2〜3週間かかっていた納期は1週間程度に短縮できる見通しだ。ブラシのすき間を自由に設計できるため、従来型のブラシよりも研磨・洗浄の効果を向上することも可能だ。平成30年には開発を終えて、量産を始める計画だ。

当社の歴史



昭和15年に大阪市西区本田で刷毛（はけ）の卸販売業として創業しました。その後、工業用ブラシの製造を始め、現在はブラッシング自動機も設計・製造しています。平成19年には新本社も建設しました。「洗う、磨く、削る」ための高効率なブラシと自動機を条件に応じて設計・製造できるのが強みです。

代表取締役 野宮 英男さん

<http://www.nomiya-burashi.co.jp/>

主な事業内容

各種工業用ブラシとブラッシング自動機の設計・製造・販売

主な取引先（納入先）

自動車、ロボット、機械、航空機、電機、電子部品、環境、建設、農林水産、生活用品などすべての産業

住所

〒550-0027
大阪市西区
九条3-28-25

- TEL 06-6582-1536
- FAX 06-6582-3433
- 創業 昭和15年4月
- 設立 昭和37年2月
- 資本金 2,100万円
- 従業員 16名